

## 第201回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2007年3月26日(月) 13時~17時20分

会場: [東京理科大学薬学部校舎](#) 薬学部1442教室(14号館4階) [アクセス](#)  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

### 講演主題: LC/MS活用の多様性

開催趣旨: LC/MSは定性分析, ハイスループット分析(スピード重視の定量分析), 高精度・高感度定量分析(GLP対応など), 多成分分析(オミクス解析, 残留農薬分析など)など種々の目的に応じて多様な活用がなされています。今回の研究懇談会では「LC/MS活用の多様性」を主題として, 機器メーカーやユーザーからLC/MSの多様な活用例について紹介します

### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(小野薬品工業(株))柴川 公雄

2. 医薬品開発におけるLC/MSの利用 ~ 医薬品候補化合物の探索から開発研究まで~ (13:05~13:25)

(田辺製薬(株))大橋 徳子

3. 質量分析におけるパラダイムシフト/サイズ・形状・価数による分離 (13:25~13:55)

(日本ウォーターズ(株))佐々木 秀輝

4. 医薬品分解生成物の迅速な構造決定 (13:55~14:15)

(三共(株))村上 智教

5. MS<sup>n</sup>と高精度質量を用いた未知化合物の構造推定 (14:15~14:45)

((株)島津製作所)猪鼻 祐介

6. LC/MS/MS及びLC/TOF-MSを用いた残留農薬分析 (15:00~15:30)

(アジレント・テクノロジー(株))滝埜 昌彦

7. 製造施設におけるβ-ラクタム系抗生物質の汚染評価と分解除去法 (15:30~16:00)

(三共(株))福津 直人

8. LC-APCI/MSの材料分野への応用 (16:00~16:30)

(日本電子(株))小林 舞

9. 二次元LC/MS/MSによる血漿中プロスタグランジン誘導体の超高感度定量

(16:30~16:50)

(小野薬品工業(株))駒場 淳二

10. 総括:LC/MSの可能性 (16:50~17:20)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:  
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm\\_tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm_tanaka@jsac.or.jp)]